

# 原町第三小学校便り

令和5年度 第7号(10月号)

文責：原町第三小学校長 林 典行

## 〇〇の秋 〇〇の自分

いよいよ秋本番となりました。やっと異常なまでの暑さも一段落したところです。まさにスポーツの秋、芸術の秋、読書の秋、様々な活動や体験に適した季節です。

学校でも、持久走大会や竹馬記録会に向け、汗を流しながら精一杯練習に励んでる姿が見られます。市総合スポーツ大会で多くの子どもたちがいろいろな種目にチャレンジしていました。ブラスバンド部は、東北大会に出場して遠く青森の地に素敵な音色を奏でました。スポーツ少年団でも様々な競技での素晴らしい活躍が聞こえてきます。

さて、日本の子どもは世界の子どもと比較し「自己肯定感」が低いという統計結果が発表されています。それは何が原因なのでしょう。これは私見ですが、「〇〇の自分」をしっかり見出していない子どもが多いからではないでしょうか。

「絵を描くのが好きな自分。」「走るのが得意な自分。」「サッカー選手になりたい自分。」「友だちのことをよく思いやることができる自分。」「相手と比較してできない自分を見つけるのではなく、～が好きな、～が得意な、～になりたい自分をたくさん気づかせるようにすることが大切なのではと考えます。

イチローに憧れる野球少年と、その父親とのやりとりを描いたCMがあります。こんなことを伝えていきます。「なろうと思ってなれるようなもんじゃないよ。でも、なろうと思わなきゃ、何にもなれないよ。」



## 原町区小高区合同小中学校音楽祭

10月13日(金)ゆめはっとで原町区小高区合同音楽祭が開催されました。代表として参加した5年生は1学期からこの音楽祭に向け一生懸命練習に取り組んできました。

さて、会場に観客を招いての開催は令和元年度以来となります。その間、新型コロナウイルス感染拡大のため、音楽祭自体が中止となったり、無観客で実施したりしてきました。中止となってしまった年では、寂しく、残念な思いをした子どもたちがたくさんいたのではないかと思います。



大勢の方々に見守られながら、生き生きと、真剣な眼差しで演壇に立っている子どもたちの姿を見て、日常という普通の状態がいかに幸せなことなのか実感した次第です。子どもたちは、会場いっぱいに素敵なハーモニーを思う存分響き渡らせていました。みんなの心をひとつにして、思い出に残る、素晴らしい音楽祭になりました。